

I 学校の概要

- 1 名称：沖縄県立辺土名高等学校
- 2 所在地：〒905-1304 沖縄県国頭郡大宜味村字饒波 2015 番地
- 3 電話：0980-44-3103・3745
- 4 F A X：0980-44-3951
- 5 校地面積

区 分		県 有 地	借 地	合 計
ア	建物敷地	18,171㎡	35㎡	18,206㎡
イ	運動場	14,205㎡	0㎡	14,205㎡
ウ	その他(教員住宅)	0㎡	1,124㎡	1,124㎡
計		32,376㎡	1,159㎡	33,535㎡

6 本校の概要

本校の設立は、昭和20年12月6日に辺土名地区高等学校促進委員会において辺土名高等学校設立の決定に始まる。そこで本校は同日を創立記念日としている。昭和21年1月5日に開校、戦時中に中学校を退学した者及び中学校入試に合格したものの入学が叶わなかった者に対し、就学を促し入学式を行った。同年3月31日、田井等高等学校の分校として琉球政府文教部に認可され、7月27日に第1回卒業式を行った。昭和22年5月31日、琉球政府立辺土名高等学校として田井等高等学校から独立、6月13日に現在の敷地（大宜味村饒波）へ移転した。平成13年4月に環境科が新設され、令和4年4月からは自然環境科へと名称を変更した。令和4年度は本校設立77周年、自然環境科設置22周年となる。

本校のモットーは「文武両道」で、これまでに数々の実績を築いてきた。中でも、昭和53年度の全国総合体育大会山形大会では、男子バスケットボールが3位入賞平成23年度には放送部がNHK全国高校放送コンテストで優勝し、脚光を浴びた。近年は、地域の少子化の影響で生徒数が減少し、各学年、自然環境科1クラス・普通科1クラスの計6クラス、生徒数は103人（R5/4/1現在）と小規模であるが、ウエトリフティング部やサイエンス部の活躍は県内外から注目を集めている。

本校は沖縄県北部の、通称「やんばる」と呼ばれる世界的にも貴重な野生生物の宝庫である緑豊かな自然環境に恵まれた場所にある。自然環境科は、やんばるの自然を生かして、「沖縄の自然」や「環境調査法」などを学んでいる。生徒は明るく素直な子が多く、校訓である『誠を以って己を持し、愛を以って人に接し、勇を以って事に当たれ』の精神で学校生活を送っている。

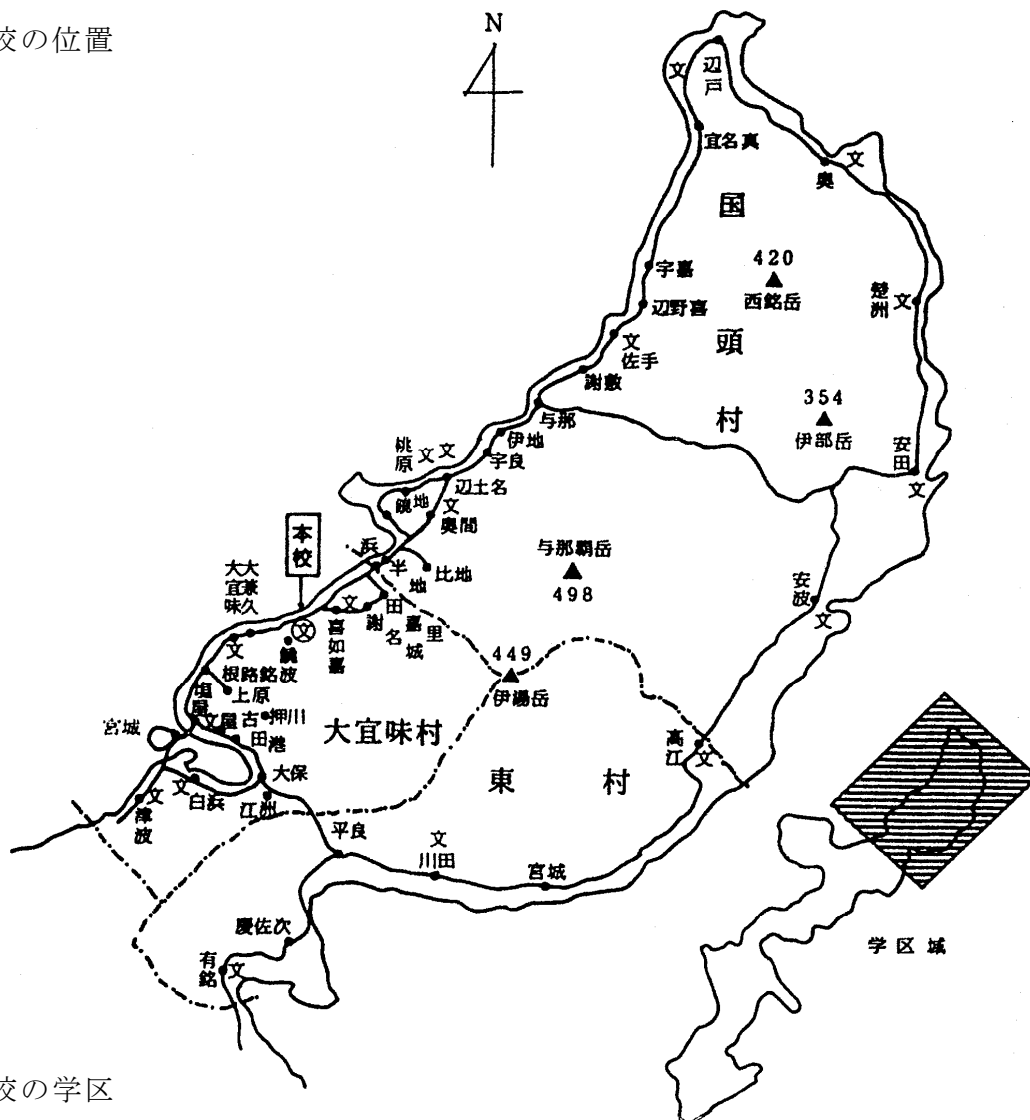
7 図書館

- ①面積 265 m²
 ②蔵書冊数 15,114 冊

分類	000 総記	100 哲学	200 歴史	300 社会科学	400 自然科学	500 工学技術	600 産業	700 芸術	800 言語	900 文学	K 郷土 芸能	合計
冊数	262	482	958	1,415	1,475	754	226	1,902	640	5,090	1,910	15,114

8 本校の位置及び学区

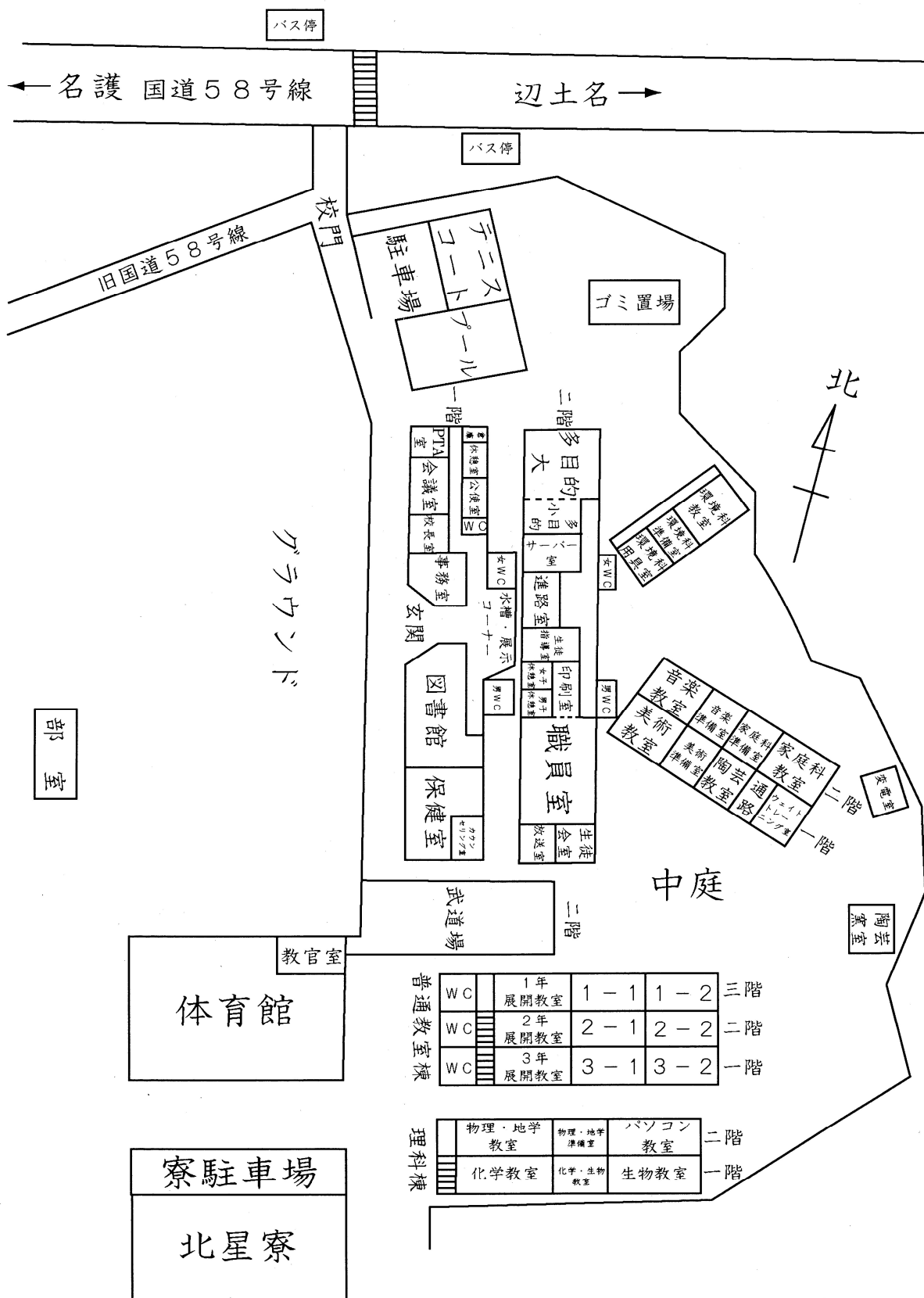
(1) 本校の位置



(2) 本校の学区

- ・普通科の学区
 国頭村・大宜味村・東村・今帰仁村・本部町・名護市・宜野座村・金武町及び沖縄県立高等学校の通学区域に関する規則第2条別表第2の地域
- ・自然環境科の学区
 県全域

9 校舎配置図



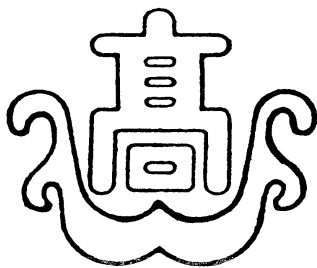
10 校訓及び校章

校 訓

誠・・・・・・・・誠を以って己を持し
愛・・・・・・・・愛を以って人に接し
勇・・・・・・・・勇を以って事に当れ

(昭和21年11月4日制定)

校 章



制 定 昭和21年1月5日 開校の日に制定

形 1. 文字の高は白色
波は黄金色

台は青（濃い青・ウルトラマリンブルー）

2. 万里の波濤を蹴って進む高校の姿

精 神 万里の波濤を蹴たてて進む姿は人材が各地各界に進出することを表すものである。

1. 世界に雄飛、進取、剛毅、果断の精神

2. 常に文化の波の魁となって進む

（社会のよい指導者の輩出を表す）

3. 豊かな黄金の波うつ、みのりの地に立つ学校

（永遠の繁栄を表す）

図案及び説明 平良泉幸先生（当時本校教諭 大宜味村大兼久出身）

学校沿革

昭和20年(1945年)

- 10月16日 米軍統治下にあった当時の沖縄において、各地区教育課長会議の文教部で、高等学校の設置が要望された。
当時の沖縄は、米軍の統治施策による市制が敷かれ、国頭村、大宜味村、東村の三村は便宜的に統合され「辺土名市」となっていた。
- 11月21日 辺土名地区文教部は辺土名市議会に対し、辺土名市における高等学校の設置を要請した。それを受けた市議会は、辺土名市に高等学校設置促進委員会を誕生させた。
- 12月 6日 辺土名地区高等学校促進委員会において辺土名高等学校の設立を決定し、校名を「辺土名高等学校」とした。校舎は男子部が国頭村辺土名に、女子部が大宜味村喜如嘉に置くことにした。初代校長に宮城定蔵氏が就任した。
- 12月 7日 戦前に中学校(現在の高等学校にあたる)に在籍していた者、あるいは戦争によって中途退学を余儀なくされた者、及び戦時中に中学入試に合格したにもかかわらず、戦時下で入学できなかった者に対し、各集落の区長を通じ、高校新設に伴う就学の促進を開始した。

昭和21年(1946年)

- 1月 5日 田井等高等学校(現在の名護高等学校)の分校として開校し、開校式並びに第1回入学式を挙行了した。
- 3月 5日 学校側が文教部に対し、独立高校存置並びに学級増加問題への対応を陳情した。また独立校存置に向け学校移転を協議懇談し、新たな敷地として大宜味村饒波区入口の広地(現在の場所)に決定した。
- 3月20日 第1回入学試験(筆答)を実施し、22日に合格候補者を発表した。
- 3月31日 本校は「田井等高等学校の分校として存置を認め、1年生、2年生の教育をなし3年生以上は田井等高等学校で教育する。ただし当分4年生まで教育してよい」との文教部より正式許可が出た。同日は文教部直轄下の高等学校として発足した日である。分校主事として文教部より池原貞雄氏が任命された。

昭和21年度(1946年)

- 4月 7日 入学候補者の身体検査と口答試問を実施し、男子53人、女子53人、計106人が合格した。
- 4月12日 学校の新敷地として大宜味村饒波集落の入口広地(現在地)で地鎮祭挙行了した。
- 5月 4日 辺土名地区米軍隊長チャン少尉の厚意により、元塩屋国民学校跡地に寄宿舎を設置し、入舎式を挙行する。舎生163人。
- 6月13日 新敷地(現在地)で校舎竣工。男子部と女子部が移転し、男女共学を始めた。
- 7月27日 第1回卒業式挙行(男子13人、女子33人、計46人)
- 11月 4日 校訓を「誠 愛 勇」に決定した。

昭和23年度(1948年)

- 昭和24年
2月22日 寄宿舎を学校敷地内に移転し、落成式及び祝賀会を開催した。

昭和35年度(1960年)

- 4月 1日 琉球政府移管に伴い 琉球政府立辺土名高等学校に校名を変更した。

昭和47年度(1972年)

- 5月15日 沖縄の日本復帰に伴い、琉球政府から沖縄県となり、沖縄県立辺土名高等学校に校名を変更した。

昭和55年度(1980年)

昭和56年

3月 1日 第36回卒業式。家政科は同年度の卒業生をもって廃科となった。

昭和58年度(1983年)

昭和59年

3月 1日 第39回卒業式。商業科は同年度の卒業生をもって廃科となった。

平成12年度(2000年)

平成13年

3月26日 新校舎竣工。

平成13年度(2001年)

4月 1日 環境科が設置された。

4月 7日 第59回入学式。環境科第1期生38人入学、普通科70人入学。

平成19年度(2007年)

4月 9日 第65回入学式。同年度から入学定員が変更され、環境科1学級、普通科1学級となった。また同年度の入学生から制服が変更され、ブレザースーツ型制服を着用することになった。

【直近5年間の学校の歩み】

平成26年度(2014年)

4月 1日 第23代校長 東盛 敬 就任

4月 7日 第72回入学式。環境科17人、普通科25人入学

5月28日 生徒総会・高校総体生徒推戴式

5月30日 県高校総体

ウェイトリフティング 女子48kg級 2位 宮城怜奈(2年) 全国総体派遣
ソフトテニス個人 平良里駒(3年)・山城真紀(3年)組 7位入賞 九州総体派遣
男子バスケットボール ベスト8(3回戦)進出

7月 4日 第1回情報処理検定 1級合格 前田香鈴(3年)

第1回ワープロ検定 準1級合格 枝川友紀(3年)

7月28日 第38回全国高等学校総合文化祭茨城大会 自然科学部門出場

文化連盟賞 生物部門「田嘉里川におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史」発表 稲垣雄亮、稲福凜(以上2年)

化学部門：「沖縄北部地域河川の水質調査」文化連盟賞

参加生徒：環境科 宮里雛(3年) 仲嶺莉穂(3年)

8月 5日 第15回全国高校生自然環境サミット群馬大会参加

金城幸輝、新城任、犬飼亜門(以上2年)

10月 5日 辺高祭 テーマ：「仲間とともにいざ団結 Let's enjoy! みんなが主役の辺高祭」

11月 1日 沖縄県高等学校新入体育大会

ソフトテニス女子個人 8位 大城真奈(2年)・平良琴音(1年)組 九州大会派遣

ウェイトリフティング女子48kg級 1位 宮城怜奈(2年) 九州大会派遣

11月 7日 第38回県高校総合文化祭 自然科学部門(第54回沖縄県生徒科学賞作品展)

生物部門 最優秀賞「田嘉里川におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史Ⅱ」

稲福凜、稲垣雄亮、仲村勇人(以上2年)、金城実希、町田佳生莉、

伊是名良平(以上1年) 平成27年度全国総文祭派遣決定

化学部門 優良賞「沖縄北部地域河川の水質調査Ⅷ」3年環境科

11月10日 第61回高校生のための生物科学展

優秀賞「ビオトープぱはらの研究～水生生物相と変遷」金城幸輝(2年)

奨励賞「田嘉里川におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史Ⅱ」

最優秀賞「大保川流域における水生生物調査Ⅲ」

泉川滝輝、田口惣、徳永陽太、新垣直正(以上3年)

奨励賞「野鳥の剥製作り」渡嘉敷博生、山川恵介、山川椋之介(以上3年)

- 11月14日 第36回九州高校放送コンテスト県大会ラジオ部門 優良賞「私たちの愛コトバ」
- 12月4日 第44回九州新人ソフトテニス大会出場 大城真奈(2年)・平良琴音(1年)組
- 12月13日 第3回スコア!サイエンスinオキナワ 参加発表
「沖縄島北部地域河川の水質調査及び枯れ葉を用いた水質改善の研究」
名城亜花莉(3年) 宮里雛(3年)
「田嘉里川におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史と昆虫食としての利用可能性Ⅱ」
稲福凜、稲垣雄亮、仲村勇人(以上2年)、金城実希、町田佳生莉、伊是名良平(以上1年)
- 12月16日 やんばる弁当甲子園 最優秀賞 知念美羽(3年)
入選 平良優季(1年)、友寄綾香(1年)
- 12月22日 第11回SIBA イングリッシュミュージックコンテスト
優勝 軽音部 バンド名「視界良好0.4」 花城奈美、前田香鈴、宮城利奈、平良綾香、崎濱秀代(以上3年)
特別賞 軽音部 バンド名「Green」知花広星、島袋奏、照屋歩香(以上2年)
- 1月18日 第23回全九州高校選抜大会ウェイトリフティング競技
女子48kg級1位 宮城怜奈(2年)
- 2月7日 平成26年度九州高校生徒理科研究発表大会沖縄大会
ポスター発表部門 優良賞「田嘉里川におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史Ⅱ」
研究発表生物部門 優良賞「ビオトープぱはらの研究～水生生物相と変遷」
研究発表化学部門 優良賞「辺土名高校周辺の河川調査Ⅷ」
- 2月14日 第37回沖縄青少年科学作品展～9日(主催:(株)沖縄電力)
化学部門 入選「沖縄島北部地域河川の水質調査及び枯れ葉を用いた水質改善の研究」
入選「辺土名高校周辺の河川調査Ⅸ」
入選「芭蕉布の研究part4」
古波津奨、島袋龍一、玉城勇斗、島袋美咲、玉城愛美、山城真紀(以上3年)
生物部門 教育長賞「田嘉里川におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史Ⅱ」
佳作「ビオトープぱはらの研究～水生生物相と変遷」
入選「大保川流域における水生生物調査Ⅲ」
入選「野鳥の剥製作り」渡嘉敷博生、山川恵介、山川椋之介(以上3年)
- 3月1日 第70回卒業式。環境科22人、普通科32人卒業
- 3月26日 平成26年度第30回全国高等学校ウェイトリフティング競技選抜大会(石川県)
出場 女子48kg級宮城怜奈(2年)
- 3月29日 東日本大震災復興支援第44回全九州小中高校ボウリング選手権大会(福岡県)
出場 安谷屋綱大(2年)
- 3月31日 第23代校長 東盛 敬 異動

平成27年度(2015年)

- 4月1日 第24代校長 濱口寿夫 就任
- 4月8日 第73回入学式。環境科22人、普通科12人入学
- 4月26日 第43回全沖縄高校ボウリング選手権大会3位 安谷屋綱大(3年)
- 5月29日 県高校総合体育大会
ウェイトリフティング女子48kg級2位 宮城怜奈(3年) 全国総体派遣
- 6月10日 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト県大会
テレビドキュメント部門 最優秀賞「辺高70」 全国大会派遣
朗読部門 優良賞 照屋歩香(3年)
創作テレビドラマ部門 優良賞 「クリーンレンジャー～受け継がれる魂～」
- 7月18日 第17回全国高等学校女子ウェイトリフティング競技選手権大会(愛媛県)
48kg級5位入賞 宮城怜奈(3年)
- 7月23日 第62回NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門出場
照屋歩香、稲福凜、佐藤裕太(以上3年)、高江洲未来、友寄綾香、大城沙采、平良優季、宇栄原麻亜子(以上2年)
- 7月28日 JOCオリンピックカップ第39回全日本高校ボウリング選手権大会
出場 安谷屋綱大(3年)
- 7月29日 第39回全国高等学校総合文化祭滋賀大会自然科学部門出場
ポスター発表部門「オキナワヒゲナガカワトビケラは周年繁殖している」
稲福凜(3年)、新垣夏実、金城実希(以上2年)

- 8月 4日 第16回全国高校生自然環境サミット(東京都)参加
参加生徒 伊是名良平、奥間樹生、神山知紀
- 10月 4日 第4回辺高祭 テーマ「祝☆70周年に燃える辺土名魂！ 楽しめ辺高祭!!」
- 10月17日 第55回沖縄県生徒科学賞作品展
最優秀賞「亜熱帯島嶼環境におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史戦略」 全国高文祭広島大会派遣
新垣夏実、金城実希、町田佳生莉(以上2年)、内間和志(1年)
優秀賞「白黒はっきりさせようじゃないか」 全国高文祭広島大会派遣
津波古昌慶、古堅瑠佳(以上3年)、奥間樹生、神山知紀、
小山瑞貴、伊是名良平、新城隼人、宮城浩太(以上2年)
全国高文祭広島大会派遣
優良賞「辺土名高校周辺の河川調査Ⅸ」 環境科3年生
「平南川・アザカ川の水質及び赤土流出についての研究」
大城真奈、上地広世、仲間優、仲井間宗仁(以上3年)
出品「大保ダムにおける水生生物調査Ⅳ～ダム運用後の影響把握と保全を目指して～」
出品「ビオトープばはらの研究～水生生物相と変遷～」
- 11月 9日 第62回高校生生物科学展
最優秀賞「亜熱帯島嶼環境におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史戦略」 九州高校生徒理研究発表大会熊本大会派遣
奨励賞「クロサギの体色(黒色型と白色型)の割合について」
奥間樹生、伊是名良平、小山瑞貴、神山知紀(以上2年)
九州高校生徒理研究発表大会熊本大会派遣
最優秀賞「大保ダムにおける水生生物調査Ⅳ～ダム運用後の影響把握と保全を目指して～」
金城幸輝、仲村勇人、町田宗作、犬飼亜門、金城力樹、
仲井間宗仁(以上3年生)
- 11月11日 第37回九州高校放送コンテスト沖縄県大会
テレビドキュメント部門 優良賞「怜奈さん！」 九州大会派遣決定
- 11月30日 環境省主催第50回全国野生生物保護実績発表大会
日本鳥類保護連盟会長褒状「大保ダム流域の水生生物を守れ！～ダム運用後の影響把握と保全を目指して～」
- 12月 6日 創立70周年記念式典 記念講演招聘講師 養老孟司『ヤンバルの可能性』
- 12月12日 沖縄科学技術大学院大学主催 第4回SCORE!
4位入賞「亜熱帯島嶼における水生昆虫の生活史と食用昆虫の完全養殖への挑戦 英語題名 The life-history of aquatic insects on a subtropical island and the challenge for perfect breeding of edible insects」
新垣夏実、金城実希、町田佳生莉(以上2年)
- 12月13日 第28回海邦国体記念ウエイトリフティング選手権大会兼第30回全国選抜選考会
女子53kg級1位 宮城怜奈(3年)、男子62kg級2位 金城和真(2年)
- 12月16日 第37回九州放送コンテスト(長崎県)出場
テレビドキュメント部門「怜奈さん！」 全国高文祭出場決定
- 12月19日 第12回イングリッシュミュージックコンテスト特別賞 軽音楽部
- 12月24日 読売新聞社主催第59回日本学生科学賞
入選2等「亜熱帯ではなぜ周年繁殖するのか～亜熱帯島嶼環境におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史戦略～」
サイエンス部2年：新垣夏実、金城実希、町田佳生莉
- 1月31日 第39回琉球新報旗争奪高等学校ウエイトリフティング選手権大会
男子62kg級2位 金城和真(2位)
- 2月 6日 九州高等学校生徒理科研究発表大会熊本大会
ポスター発表部門
優良賞「亜熱帯島嶼環境におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史戦略」
優良賞「白黒はっきりさせようじゃないか～クロサギの体色(黒色型と白色型)の割合について～」
研究発表生物部門
優良賞「亜熱帯島嶼環境におけるオキナワヒゲナガトビケラの生活史戦略」
- 2月14日 第38回沖縄青少年科学作品展
沖縄電力社長賞「辺高生き物博物館をつくろう！」
稲福凜、金城力樹、松田優哉、山城就(以上3年)、伊是名良平、奥間樹生、神山知紀、小山瑞貴、新城隼人(以上2年)、安富祖奨真、石川琉人、儀間ジノ(以上1年)

- 環境奨励賞「白黒はっきりさせようじゃないか〜クロサギの体色(黒色型と白色型)の割合についての研究〜」
津波古昌慶、古堅瑠佳(以上3年)、奥間樹生、神山知紀、小山瑞貴、伊是名良平、新城隼人(以上2年)、石川琉人、儀間ジノ、安富祖奨真(以上1年)
- 佳作「平南川・アザカ川の水質及び赤土流出についての研究」
大城真奈、上地広世、仲井間宗仁、仲間優(以上3年)
- 佳作「亜熱帯島嶼環境におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史戦略」新垣夏実、金城実希、町田佳生莉(以上2年)
- 佳作「大保ダム流域の水生生物調査 IV〜ダム運用後の影響把握と保全を目指して〜」金城幸輝、仲村勇人、町田宗作、犬飼亜門、金城力樹、仲井間宗仁(以上3年)
- 入選「太陽光を利用した温水器の制作」稲垣雄亮、久高悠太、比嘉一步、古堅瑠佳(以上3年)
- 入選「辺土名高校周辺の河川調査X(水質調査と水生生物調査)」2年環境科
- 2月20日 第14回沖縄大学ジュニア研究支援発表会出場
「オキナワヒゲナガカワトビケラは周年繁殖し、年間世代数は3世代か?〜幼虫の飼育と成虫のトラップ採集から〜」新垣夏実、金城実希
- 3月1日 第71回卒業式。環境科28人、普通科18人卒業
- 3月31日 第24代校長 濱口寿夫 異動

平成28年度(2016年)

- 4月1日 第25代校長 田里光夫 就任
- 4月7日 第74回入学式。環境科23人、普通科32人入学
- 6月15日 第63回NHK杯全国高校放送コンテスト沖縄県大会
テレビドキュメント部門 優秀賞「ヤンバルの自然〜忍び寄る影〜」
ラジオ創作部門 優良賞「教師撤廃ロボ雇用法案」 全国大会出場決定
- 6月30日 生徒会長選挙 樋口一瀬(1年)選出
- 7月25日 第63回NHK杯全国高校放送コンテスト出場
テレビドキュメント部門「ヤンバルの自然〜忍び寄る影〜」
高江洲未来、友寄綾香、大城沙采、平良優季、宇栄原麻亜子(以上3年)
稲福倭子(1年)
- 8月1日 第40回全国高等学校総合文化祭広島大会 自然科学 ポスター発表部門
文化庁長官賞「亜熱帯島嶼におけるオキナワヒゲナガカワトビケラの生活史戦」新垣夏実、金城実希(以上3年)
奨励賞「白黒はっきりさせようじゃないか〜クロサギの体色についての研究〜」奥間樹生、神山知紀(以上3年)
- 8月3日 第40回全国高等学校総合文化祭広島大会 放送部門出場
テレビドキュメント「ヤンバルの自然〜忍び寄る影〜」
- 8月8日 第17回全国高校生自然環境サミット(島根県立吉賀高等学校〜8/11)
参加 稲福倭子、儀間竜之介、長谷川瑤碧(以上3名、1年)
- 10月2日 第5回辺高祭
テーマ『BIG Smileでかましたれ!! さわげ!たのしめ!辺高祭☆☆』
- 10月15日 第56回沖縄県生徒科学賞作品展
学校賞 辺土名高等学校
優秀賞&沖高理OB会賞「辺土名高校周辺の河川調査X(水質調査と水生生物調査)」環境科3年生全員15名 全国高文祭広島大会派遣
奨励賞「白黒はっきりさせようじゃないか〜クロサギの体色の割合についての研究II」村田瑞貴、神山知紀、奥間樹生、新城隼人(以上3年)、石川琉人、儀間ジノ、内間和志(以上2年)
出品 「大保ダム流域における水生生物調査V〜ダム運用後の経年変化〜」伊是名良平、新城隼人、村田瑞貴、新垣夏実、金城実希(以上3年)
「平南川・アザカ川の水質及び赤土流出についての研究」新垣夏実、宇栄原麻亜子(以上3年)
「太陽光を利用した温水器の制作」東江琉河、金城実希、城間正和、宮城択志(以上3年)
「辺土名高校内のアリ相」町田佳生莉、外間廉志、宮城浩太(以上3年)
- 11月7日 第63回高校生による生物学展
優秀賞「クロサギの体色の割合についての研究II〜生息環境との関連性を遺伝的な法則性で明らかにする〜」九州高校生理研究発表大会派遣

- 奨励賞「辺土名高校周辺の河川調査XI（水質調査と水生生物調査）」
稲福倭子、嘉那原太一、宮城あゆみ、長谷川瑠碧（以上1年生）
- 優秀賞「大保ダム流域における水生生物調査V～ダム運用後の経年変化～」
伊是名良平、新城隼人、村田瑞貴、新垣夏実、金城実希（以上3年）
- 優秀賞「辺土名高校のアリ相」
- 11月19日 第87回日本動物学会 高校生によるポスター発表大会
ポスター発表「辺土名高校周辺の河川調査XI（水質調査と水生生物調査）」
稲福倭子、嘉那原太一、宮城あゆみ（以上1年）
- 12月10日 沖縄科学技術大学院大学主催 第5回SCORE！～起業のための研究能力～
第3位入賞「エコツアーガイドで地域活性化！
～やんばる国立公園でリバーウォッチング～
英語題名 Revitalization of the local community by eco-tour
guide!～River watching in the Yambaru National Park～
稲福倭子、嘉那原太一、長谷川瑠碧（以上1年）
- 第20回やんばる圏高校生英語スピーチコンテスト
出場 宮城あゆみ、儀間章託（以上1年）
- 12月19日 第14回SIBAイングリッシュミュージックコンテスト優秀賞 軽音楽部
- 12月28日 九州高等学校生徒理科研究発表大会福岡大会
ポスター発表部門 優良賞「辺土名高校周辺の河川調査X」
発表 町田佳生莉（3年）、稲福倭子（1年）
- 研究発表化学部門 優良賞「辺土名高校周辺の河川調査X」
発表 嘉那原太一、長谷川瑠碧（以上1年）
- 研究発表生物部門 優良賞「クロサギの体色の割合の研究II 生息環境と
の関連性と遺伝の法則性を明らかにする」
発表 石川琉人、儀間ジノ、内間和志（以上2年）
- 2月19日 第39回沖縄青少年科学作品展
環境奨励賞「白黒はつきりさせようじゃないか～クロサギの体色（黒色型
と白色型）の割合について」
- 佳作「周年繁殖するオキナワヒゲナガカワトビケラは年3世代以上を
繰り返す」新垣夏実、金城実希（以上3年）
- 佳作「辺土名高校周辺の河川調査 Vol.11水生生物と水質による環境評価」
平良恒稀ほか2年環境科23名、稲福倭子、嘉那原太一、長谷川
瑠碧、宮城あゆみ（以上1年）
- 佳作「辺土名高校周辺の土壌動物を用いた環境診断～指標生物による
自然の豊かさの評価～」新垣夏実、金城実希（以上3年）
- 入選「大保ダム流域の水生生物調査 V ～ダム運用後の経年変化～」
村田瑞貴、新城隼人、伊是名良平、金城実希、新垣夏実（以上3年）
- 入選「田嘉里川周辺におけるバタフライ・ウォッチング～チョウを
用いた緑の環境診断～」新垣夏実、金城実希（以上3年）
- 入選「辺土名高校内のアリ相II」町田佳生莉、外間廉志、
宮城浩太（以上3年）
- 入選「平南川・アザカ川の水質及び赤土流失についての研究II」
宇栄原麻亜子、新垣夏実（以上3年）
- 入選「辺高生き物博物館」をつくろう！その式
奥間樹生、神山知紀、辺土名朝蓮（以上3年）
- 入選「太陽光を利用した温水器の制作」
東江琉河、金城実希、城間正和、宮城沢志（以上3年）
- 3月1日 第72回卒業式。環境科13人、普通科24人卒業

平成29年度（2017年）

- 4月7日 第75回入学式。環境科23人、普通科21人入学
- 5月27日 沖縄県高校総体総合体育大会
ソフトテニス女子個人ベスト16 金城莉里香・田場瑞歩ペア（以上2年）
- 6月15日 第64回NHK杯全国高校放送コンテスト沖縄県予選
テレビドキュメント部門 優秀賞 『いつものSOBAで』全国大会出場
製作 儀間敬亮、儀間章託、前里龍士（以上2年）
- ラジオ創作部門 優良賞 『カギ』
制作 稲福倭子、島袋優羅、平良拓夢（以上2年）
- 6月29日 生徒会長選挙 儀間敬亮（2年）選出
- 7月24日 第64回NHK杯全国高校放送コンテスト
テレビドキュメント部門 『いつものSOBAで』

- 8月 2日 第41回全国高等学校総合文化祭みやぎ大会(宮城県)
自然科学部門 研究発表「辺土名高校周辺の河川調査Ⅰ」
発表者 稲福倭子、長谷川瑤碧(以上2年)
- 8月 2日 第18回全国高校生自然環境サミット(埼玉県)
参加生徒：阿賀嶺礼旺、大城悠太、饒平名長怜(以上1年)
- 8月18日 コカ・コーラ環境フォーラム2017(北海道) 第24回コカ・コーラ環境教育賞選考会
次世代支援部門出場
「学校まるごと生き物博物館計画～世界遺産登録を目指す～やんばるの
自然への窓口として～」 発表 石川琉人(3年)、伊勢田楼子(1年)
- 8月19日 第41回沖縄県高等学校総合文化祭弁論部門 出場 稲福倭子(2年)
演題「見えているもの 視えていないもの」
- 9月30日 第6回辺高祭 テーマ『Welcome to Yambaru』
- 10月 8日 日本語ワープロ検定(Word) 1級合格 前田柚香(3年)
- 10月21日 第57回沖縄県生徒科学賞作品展 自由研究部門
優良賞 「辺土名高校内のアリ相Ⅱ」
ほか出品「太陽光を利用した温水器の制作2017」
「南西諸島におけるクロサギの研究Ⅲ」
「大宜味産クワガタ3種類のサイズと雌雄の出現時期について」
- 10月22日 沖縄県高校生芸術文化国際交流プログラム選考参加
樋口一瀬(2年) 派遣国 アメリカ合衆国ハワイ州(～10/27)
- 10月28日 県高校新人体育大会
ソフトテニス女子 団体の部ベスト8
- 11月 2日 第64回高校生による生物科学展
自由研究部門 優秀賞「南西諸島におけるクロサギの研究Ⅲ」
九州高等学校生徒理科研究発表大会大分大会派遣
出品「大宜味産クワガタ3種類のサイズと雌雄の出現時期について」
授業課題・自由研究部門 優秀賞：「辺土名高校内のアリ相Ⅱ」
- 11月10日 北部保健所主催 やんばる弁当甲子園 入賞 大城美月(2年)
- 11月22日 校内ロードレース大会(国頭村エコスポレク運動公園)
男子の部優勝 山口 遼(2年) 女子の部優勝 山田鈴乃(2年)
- 12月 9日 第21回やんばる圏高校生英語スピーチコンテスト
金賞 山城願(1年)、銅賞 宮城あゆみ(2年)
- 2月10日 第40回青少年科学作品展
佳作「白黒はっきりさせようじゃないか～南西諸島におけるクロサギの
研究Ⅲ」東沙南、伊勢田楼子、石井千啓、上地明斗、上原玄武、
大城悠太、大城満、儀保雄大、金城尚輝、崎濱幸多、
比嘉佑斗、饒平名長怜(以上1年)
入選「太陽光を利用した温水器の製作2017」
安富祖奨真、島袋晃輔、友寄駿(以上3年)
入選「平南川・アザカ川の水質及び赤土流出についての研究Ⅱ」
狩俣優太、仲間陸(以上3年)
入選「辺土名高校内のアリ相Ⅲ」石川琉人、田場勇輝、宮里朝妃(以上3年)
入選「チョウをよぶための研究Ⅰ」上里幸穂(3年)
入選「辺高ビオトープを作ろう！～ヤンバルクイナが訪れるビオトープを
めざして～」 儀間ジノ、知花未来、知花凌也、名幸歩武(以上3年)
入選「イネの収穫についての研究～米1粒は何倍に増えるのか～」
平良恒稀、前川沙也奈、山川裕己(以上3年)
入選「大宜味産クワガタムシ3種類のサイズと雌雄の出現時期について」
阿賀嶺礼旺、東沙南、伊勢田楼子、上地明斗、上原玄武、
上間勝吾、大石圭延、大城満、儀保雄大、崎濱幸多、比嘉良、
饒平名長怜(以上1年)
- 2月12日 第44回九州高等学校生徒理科研究発表大会大分大会
優良賞「南西諸島におけるクロサギの研究Ⅲ」
大城満、金城尚輝、崎濱幸多、饒平名長怜(以上1年)
- 3月 1日 第73回卒業式。環境科19人、普通科11人卒業
- 3月31日 第25代校長 田里光夫 定年退職

平成30年度(2018年)

- 4月 1日 第26代校長 永山 俊 就任
- 4月 7日 第76回入学式。環境科14人、普通科15人入学

- 5月25日 沖縄県高校総体総合体育大会
ホッケー男子 認定優勝、ソフトテニス男子 団体の部ベスト8
- 6月 7日 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト沖縄県大会 テレビドキュメント部門
3位入賞『おいしいを届けたい』 全国大会出場決定
製作 儀間敬亮、儀間章託、仲間咲良、平良拓夢、前里龍士(以上3年)
- 6月15日 九州高校総体ホッケー競技大会出場(佐賀県)
- 7月24日 第65回NHK杯全国高校放送コンテスト テレビドキュメント部門 出場
出場 儀間敬亮、儀間章託(以上3年)、大石圭延(2年)
- 7月30日 おきなわ国際協力人材育成事業派遣レポーター
石井千啓(2年) 派遣国 ミャンマー(~8/9)
- 7月30日 献血運動功労団体表彰 日本赤十字社沖縄県支部長感謝状受賞
- 8月 7日 第19回全国高校生自然環境サミット(北海道標茶高校)
参加 赤嶺浩登、上地志文、當山全翔(以上1年)
- 8月17日 秋季国民体育大会九州ブロック高等学校ホッケー競技大会出場(鹿児島県)
- 9月15日 (公財)日本国連協会主催 国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール
沖縄県予選大会 最優秀賞 石井千啓(2年) 全国大会出場決定
- 9月15日 第37回島尻郡体育協会ウエイトリフティング競技大会
69kg級 2位 石垣 駿(1年)
- 10月 8日 第7回辺高祭 テーマ「騒げ、楽しめ、辺高祭 ~Love Our Yambaru ~」
- 10月13日 第58回沖縄県生徒科学賞作品展 自然科学部門
奨励賞「沖縄在来カブトムシ(オキナワカブト)の研究」
長谷川瑤碧、儀間竜之介、徳盛なつき、宮城龍樹(以上3年)、
阿賀嶺礼旺、東 沙南、石井千啓、伊勢田綾子、上地明斗、
上間勝吾、上原玄武、大石圭延、大城悠太、大城 満、儀保雄大、
金城尚輝、崎濱幸多、比嘉佑斗、比嘉 良、金城芽衣莉(以上2年)
上地志文、當山全翔、杉山 純、田港朝斗(以上1年)
- 10月22日 沖縄県高校理科教育研究競技会OB会賞 同時受賞
第65回国際理解・国際協力のための高校生の主張コンクール全国大会(東京都)
出場 石井千啓(2年) 演題「国連の重要性を私達はどのように理解するか」
- 10月27日 沖縄県高等学校新人体育大会 ウエイトリフティング競技
61kg級 2位 金城朝瀬(2年)、67kg級 3位 石垣 駿(1年)
- 11月10日 九州高等学校新人体育大会ホッケー競技出場(鹿児島県)
- 11月19日 (公財)暴力団追放沖縄県民会議主催 暴力団追放運動ポスター・標語コンクール
標語部門 優秀賞 島袋菜弥(3年)
- 11月22日 校内ロードレース大会(国頭村エコスポレク運動公園)
女子の部優勝 長谷川碧(3年)、男子の部優勝 石垣 駿(1年)
- 11月26日 沖縄県北部保健所主催 やんばる弁当甲子園
優秀賞 大城美月(3年) 作品名「海・山! バランス大宜味弁当」
- 12月 1日 第22回やんばる圏高校生英語スピーチコンテスト 銀賞 前里龍士(3年)
- 2月 9日 沖縄電力株式会社主催 第41回沖縄青少年科学作品展
佳作「島ヤギの嗜好性について~ヒージャーは外来植物駆除の救世主となれ
るか~」 長谷川瑤碧、儀間竜之介、徳盛なつき、宮城龍樹(以上3年)
入選「アサギマダラの謎に迫る」
宮城龍樹、儀間竜之介、徳盛なつき、長谷川瑤碧、渡慶次 彩、
比嘉沙英、山田鈴乃(以上3年)
入選「プロジェクト辺高 めざせ!やんばるブランド」
東江俊幸、安次嶺海月、徳盛なつき、比嘉貫生(以上3年)
入選「沖縄在来のカブトムシ(オキナワカブト)の研究~形態的特徴と繁殖
生態について~」長谷川瑤碧、儀間竜之介、徳盛なつき、宮城龍樹
(以上3年)、阿賀嶺礼旺、東 沙南、石井千啓、伊勢田綾子、上地
明斗、上間勝吾、上原玄武、大石圭延、大城悠太、大城 満、儀保
雄大、金城尚輝、崎濱幸多、比嘉佑斗、比嘉 良、金城芽衣莉
(以上2年)、地志文、當山全翔、杉山 純、田港朝斗(以上1年)
- 3月 1日 第74回卒業式。環境科19人、普通科30人卒業

平成31年度(2019年) 5月1日より令和元年度

4月 8日 第77回入学式 環境科21人、普通科20人入学

1 2 歴代校長一覧

田井等高等学校 辺土名分校

代	氏名	就任年月
第1代	宮城 定蔵	昭和20年12月
第2代	池原 貞雄	昭和22年3月

辺土名高等学校

代	氏名	就任年月
初代	平田 善吉	昭和22年5月
第2代	伊集 盛吉	昭和26年10月
第3代	照屋 実太郎	昭和29年5月
第4代	上地 安林	昭和32年4月
第5代	金城 茂	昭和36年9月
第6代	山城 昌輝	昭和43年2月
第7代	世嘉良 栄	昭和47年4月
第8代	親泊 康哲	昭和51年4月
第9代	中村 正徳	昭和53年4月
第10代	与那覇 哲夫	昭和56年4月
第11代	久田 友明	昭和59年4月
第12代	知念 積一	昭和62年4月
第13代	我那覇 隆士	平成2年5月
第14代	香村 保	平成6年4月
第15代	上原 実治	平成7年4月
第16代	稲福 正幸	平成9年4月
第17代	仲嶺 真太郎	平成12年4月
第18代	神谷 育雄	平成14年4月
第19代	久場 安次	平成16年4月
第20代	金城 孝忠	平成17年4月
第21代	仲地 光雄	平成20年4月
第22代	安座間 安史	平成23年4月
第23代	東盛 敬	平成26年4月
第24代	濱口 寿夫	平成27年4月
第25代	田里 光夫	平成28年4月
第26代	永山 俊	平成30年4月
第27代	金城 栄一	令和3年4月
第28代	桃原 健次	令和5年4月